

りんご盗難防止対策

～防犯カメラ貸与式・りんご盗難防止決起大会～

黒石地区防犯協会（高樋憲会長）は9月30日、黒石市役所で防犯カメラ貸与式を開いた。中弘南遊技業防犯協力会（上谷眞一会長）から贈呈された防犯カメラを、りんごの盗難防止に活用してもらうために当JAに貸与した。

佐藤佳克営農購買担当常務は「りんごの盗難は深刻な問題なので防犯カメラの貸与はとてもありがたい。生産者の不安を解消できるよう努めたい」と話した。防犯カメラは、黒石警察署と当JAが協議して活用する。

また、10月2日には黒石市運動公園でりんご盗難防止決起大会を行いりんご生産者に対策を呼び掛けた。

※盗難や見かけない車を見つけた際は、お近くの警察署へ連絡しましょう。



防犯カメラを受け取った貸与式

農業の理解深める

～新採用職員農作業体験～

当JAは新採用職員の教育の一環として、農業体験実習を実施している。組合員とふれあい、農業に対する理解を深めることを目的としている。

黒石基幹支店配属の小田桐玲さんは9月18日、同支店管内の組合員佐藤英次さんのハウスでトマトの収穫などの農作業を体験。小田桐さんは「今回の実習を通して、農業の大変さや農作業について学ぶことができた。実習で学んだことを今後のJA業務などに生かしたい」と話した。



トマトの農作業を体験する小田桐さん



りんごの収穫作業を体験する齋藤さん

援農隊繁忙期にお手伝い

～都市住民による農業ボランティア～

10月2日から4日の3日間、猫の手援農隊11人が黒石基幹支店管内のりんご生産者の園地で、収穫・摘葉作業の手伝いをした。

猫の手援農隊とは、全国農協観光協会が都市住民にボランティアを募り、作業支援をする企画。当JAの受け入れは4回目となる。

参加者は慣れた様子で作業を行い、農作業と生産者との交流を楽しんだ。

生産者は「収穫・摘葉は人手が必要な作業なのでとても助かる」「作業スピードが速くて頼りになる。来年も来てほしい」と感謝した。



摘葉作業を行う援農隊

秋のスポーツ交流

～JA年金受給者グラウンドゴルフ大会～

当JAは10月3日、平川市の平賀ドームでJA年金受給者グラウンドゴルフ大会を開いた。基幹支店ごとに活躍する年金受給者の交流と健康増進を目的とし、56人が参加した。

今年は8班に分かれ、屋内と屋外各12コースの計24コースを回った。屋外コースは上りや下り、草などがあり愛用のクラブでコースを読みながらホールポストを狙った。お互いに応援し、ホールインを喜び合うといった親交が深まる様子も見られた。19人がホールインワン賞を受賞し、男性の部では天内光義さん（尾上管内）、女性の部では成田京子さん（常盤管内）が優勝した。



ホールポストを狙う参加者

優勝した天内さん(右)と成田さん(左)